市長が行く

No.48

茂原市長　田中豊彦

雇用拡大に向けて（企業訪問を終えて）

企業誘致の都市間競争は年々激しくなってきていますが、千葉県では、都心に近いせいもあってか、今のところ直接企業を訪問するなどの積極的な動きがあまり見られません。したがって、単独で情報を収集し整理した中で、具体的な誘致活動に着手しております。

その点他府県の動きはかなり激しく、沢井製薬の誘致や、ジャパンディスプレイの誘致でも後手を踏むことがあったのも事実です。幸いにも二社とも茂原市にきてくれましたが。

2月の5日・6日で大阪に企業訪問をしてきました。今回の目的は、一つにはジャパンディスプレイの工場の中で、前工程（基盤を埋め込んだガラス板を更に薄くすること）を受け持つ企業と、後工程（出来上がった製品をチェックすること）を受け持つ企業への訪問と、沢井製薬の本社訪問が中心で、そのほかにも、いくつかの企業を訪問してきました。もちろん従業員の募集の拡大をお願いすることが最大の目的です。

昨年は、パナソニックが撤退し、また60年以上この茂原市で工場を稼動し、多くの雇用を生み出してくれた、東芝コンポーネンツも撤退してしまいました。その結果、たくさんの従業員の方が職を失い、今も相当数の方が職を探しています。

行政としても、出来るだけ雇用の拡大を常に頭の中に入れて、企業側にお願いをしてきております。しかし、企業側の事情もあり、なかなか思うようにはいきません。そういった交渉もあって、今回の企業訪問となりました。いつも思うのですが、実際に企業を訪問しなければわからないことが沢山あります。

たとえば、日立・東芝・ソニーの連合であるジャパンディスプレイの中で、今回訪問した企業がどことのつながりが強いのかとか、具体的にどのような仕事をしているのか等、その企業を訪問してみて初めて理解できました。

また、平成29年度に販売が予定されている「茂原にいはる工業団地」のPRもしてきました。沢井製薬では、会長と今回もお会いしたのですが、そこで改めて、ジェネリック薬品に対する強い思いと、この3月から本格稼動する茂原工場を、世界から来るお客様に見せるように見学コースを作ってPRに努めていくということを伺いました。

今年の夏ごろまでには、茂原の工場を関東工場として全景をテレビ放映するそうです。もちろん雇用の拡大も図っていかれると伺い、私も前向きな気持ちになりました。その際に隣接地である、旧茂原工業高校跡地の購入を重ねてお願いしてきました。

今後もアンテナをはり、さらなる人口増と税収増を視野に入れて、体を張って企業誘致に取り組んでまいります。